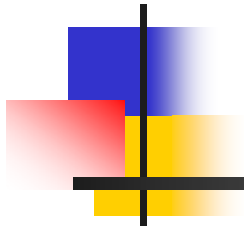
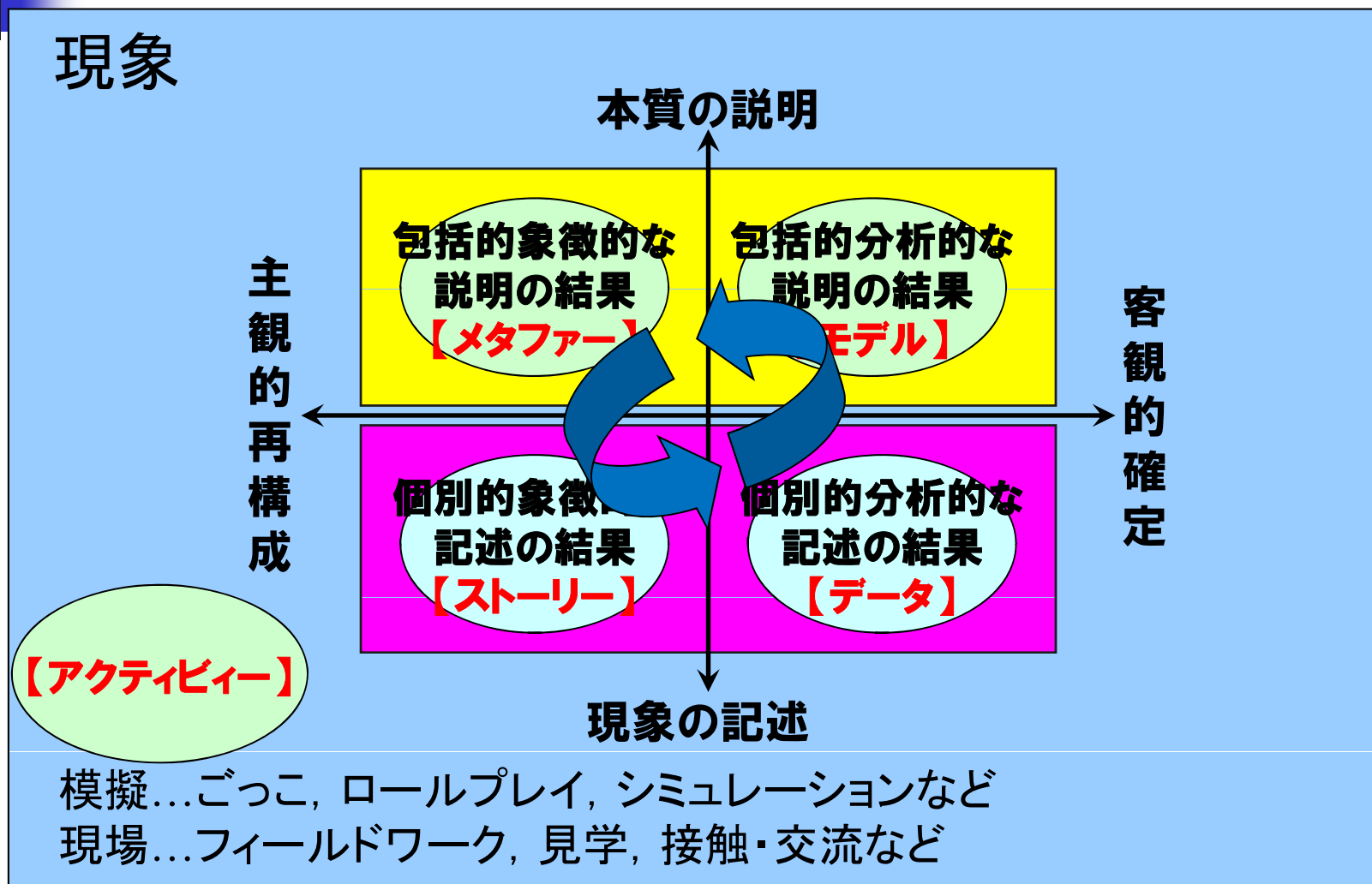


# 地理教育方法・評価 演習



## 第6講 説明的教材を媒介にした授業開発(2) ーアフリカ経済とフランス革命を手がかりにー

# I 説明的教材の位置づけ





## 【本日の課題】

**2枚の風刺画を使って、授業を構想しよう。**

1. A班: 「メタファー」型の教材, とくに風刺画に共通して描かれているものは何か。それはなぜ描かれているのか。理由を推測してみよう。
2. B・C班: 「アフリカへのツナミ」の絵を用いて, 目的を異にする3つの発問・学習活動を考えなさい。
3. D・E班: 「フランス革命」の絵を用いて, 目的を異にする3つの発問・学習活動を考えなさい。

## アフリカへの津波









# II 「アフリカ」「フランス革命」の授業構成

## 1 地域の関係・社会の変化, の解明

「MQ:この絵は何を表しているのだろうか？」

- 第1段階: 絵の表現をどう読み解くか
  - ・ 絵の**要素**が表象する事実(人物・行為・せりふ=what1-1)
  - ・ 絵の**全体像**が表象する意味(地域解釈・時代解釈=what1-2)
- 第2段階: 表現の背景をどう読み解くか...
  - ・ 制作者を規定している**客観的背景**(状況・環境=why2-1)  
→ 現実はどうなのか?...データ型教材(統計・記録)で補う
  - ・ 制作者を規定している**主観的背景**(思想・偏見=why2-2)  
→ 意図はどうなのか?...ストーリー型教材(日記・小説)で補う

## 2 他者が説明した社会現象を手掛かりに

- 教材1 「押し寄せるツナミ」...経済のグローバル化
  - 教材2 「フランス革命」...封建社会の構造変動
- 事  
実  
の  
解  
釈



### 3 メタファーの特性

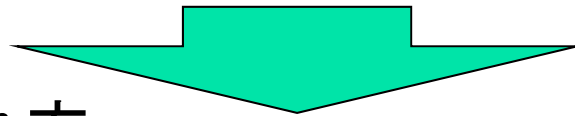
- 子どもの日常生活の文脈( **普段の行為＝擬人的な関係** )とその拡張によって、意味を **内在的・直観的に** 理解できる

・ 右から嵐が襲う ---- 左に逃げ惑う

→ アジアからの輸出 ---- アフリカの生産の停滞

・ 下から背負う ---- 上に乗っかる

→ 市民階級の被支配 ---- 特権階級の没落



- 授業での使われ方

・ パタン1: **他者**のメタファーの提示→意味の解釈( **実証** )

・ パタン2: 事実の解釈→ **自己**のメタファーの作成( **構築** )



## 意味の構造化・一般化

(関連付けると、まとめると、他時代・他地域では)

意味の再構成

(何を表している→根拠は?)

【メタファー】

【モデル】

意味の分析

(どうなっている→原因は?)

【ストーリー】

【データ】

## 意味の記録化・個別化

【アクティビティ】  
(どうだった、例えば、その人は・そこは?)

# III 説明的教材の位置づけ

